

公園施設標準設計図集

特記仕様書

§ 1 共通事項

- 本図集は、福岡市の公園緑地等の標準的な設計図を収録したもので、工事設計図書の一部を構成する。
- 本図集は、平成27年12月に改訂された『公園施設標準設計図集』（福岡市公園緑地部編 昭和56年作成）をさらに改訂したものである。
- 本図集は、『土木工事共通仕様書』（福岡市制定・平成29年4月版）および工事設計図に準ずる。
- 本図集に記載のない部分詳細等については、製作メーカーの仕様によるものとし、施工にあたっては監督員の承認を得る。
- 本図集に記載のない一部材料の、形状および色彩等については、工事設計図または監督員の指示による。
- 本図集の記載寸法はすべて仕上がり寸法である。
- 本図集の施設を設計に用いる場合は、設計図の凡例の中の記号を で囲み、備考欄等に「標準設計図集（平成30年4月版）」と記述する。

§ 2 特記事項

- 土 工 構造物の床掘は、床掘深さが1m未満の場合は直掘、1m以上は1:0.5の勾配の斜掘とし、余裕幅は、本体コンクリート端から深さが0.8m未満の場合は両側各20cm、それ以上の場合は各50cmとする。ただし、足場工がある場合や土留掘削の場合は、監督員と協議する。
 埋戻しは、タンパー（60～100kg）により厚さ20cm毎に転圧する。
 機械床掘の場合は、すべて人力による基面整正をおこなう。

- コンクリート工 使用するセメントは、高炉Bとする。
- モルタル工 空練りと表示したモルタルについては、適度に水分を含んだものを用いる。（平板舗装、石張舗装、レンガ舗装等）
- 鋼材加工 溶接は線溶接とする。
 鋼材の亜鉛メッキは、電気亜鉛メッキJIS H 8610 2種4級とする。
- 木材加工 背割りは、小口までおこない、切込み幅はノコ幅を標準とする。
- 塗 装 工 鉄部塗装は、亜鉛メッキのうえ下塗り（灰色）、中塗り（白色）、上塗り（色指定）各1回塗りとする。
塗膜厚は85 μ 以上とする。
 木材のうち、地表に露出する面は、保護材を3回塗布する。ただし丸太階段、樹木支柱材、鉄線柵は除く。

亜鉛メッキ	JIS H 8610	2種4級
下 塗 り	F☆☆☆☆	変性エポキシ樹脂プライマー
中 塗 り	F☆☆☆☆	ウレタン樹脂塗料（白色）
上 塗 り	F☆☆☆☆	ウレタン樹脂塗料（指定色）
- 左 官 工 コンクリートおよびモルタル面等の地表露出部の仕上げは、金ゴテで水勾配をとり角は面取りをおこなって滑らかに仕上げる。また鋼材等に接する部分は金ゴテで塗装を損傷せぬよう施工する。
- プレート工 修景施設工の一部、遊戯施設工および休養施設工の製品については、プレートを貼り付けることとする。